

## 1. 園の教育目標

どの子も生き生きと活動する楽しい幼稚園

## 2. 本年度の重点目標

- (1) あいさつをしよう。
- (2) 仲よく元気に遊ぼう。
- (3) 自分の思いを伝えよう。

## 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	園は、目指している教育目標・本年度の重点目標を周知している。	B
	教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	事故やけが等、発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	園長は、教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取り組み）	法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	保護者アンケートの実施と学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	P T A や学校関係者委員会(モニター会)等で、定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

## 4. 学校関係者評価委員会（モニター）からの評価

(1) 「子育て支援・預かり保育」のポイントが下がっている。職員の預かり保育に関しての状況理解が不十分な面があり、保護者や地域のニーズを十分つかみ切れていないという課題がある。

(2) 「職員組織」では、学年毎のチームワークの良さがあり、行事当日の様子などから最大限に力を引き出すような支援をしている職員の姿が見受けられた。「音楽会」の歌声も、子どもたちの力を引き出してもらったからだと思う。

(3) 「マスク持参や着用」は、成果があったと思う。しかし、朝のバス内でマスク着用ができていても、帰り際にはスモックに入っている様子もある。常にマスク着用を徹底できればなおよい。

(4) 「地域のニーズを理解しているか」は、「預かり保育」に関して改善が必要ではないかと思う。働くことを支援する、というところが、松本南幼稚園の強みである。また、預かりができることで親が安心でき、それは子どもの安心にも通じている。当日の急な預かり等への対応がやや不十分になってきてはいないかと思われるので、改善してほしい。

(5) 「子どもを見る目を養う」ところに、松本南幼稚園のベースがある。一人一人のお子さんに対応している先生の姿がある。具体的には、「絵を描いている子どもたちのところを回りながら、良いところへ○をつけている。のりを使っている子どもたちの塗り方をみて、塗り方の指導が全体に行き渡っている。個別の支援（配慮）をしている」など、子どもたちの育ちを見ていた先生の姿を参観でみさせてもらった。

## 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

(1) 三つの重点目標に向かって園運営を進めてきた。園児・職員にとり、分かりやすいものであり共通理解しながら、向かったものと考えられる。大切な観点であると考えているので、引き続きこの面へ力をいれていきたい。

(2) 行事のための活動ではなく、日々の保育の積み重ねが重要である。本年、その面を深く考えることができた。日常のお子さまの育ちをみつつ、今後も積み重ねを大切に保育の展開を図りたい。

(3) ご家庭との連携はなくてはならないものである。本年度導入した「ラーニングストーリー」を次年度も継続して行うことから、保育者の資質向上も図りつつ、ご家庭と園と連携しながらお子さまの成長を図っていきたい。また、連絡帳等の活用による連携も図っていきたい。

(4) 地域にある園として、地域にでる機会を増やすことなどを通して、地域の皆様との連携を一層深めていきたい。